

「空車時定格総荷重表」

に基づき作業する

U-CANシリーズ☆☆☆ Super 及び Vシリーズ、Aシリーズ

空車時定格総荷重

空車時定格総荷重とは、トラックの荷台に積荷がない状態（空車時）での安定度に基づき、作業半径に応じた吊上げ性能です。フックなど吊具の質量も含んだ数値で表しています。

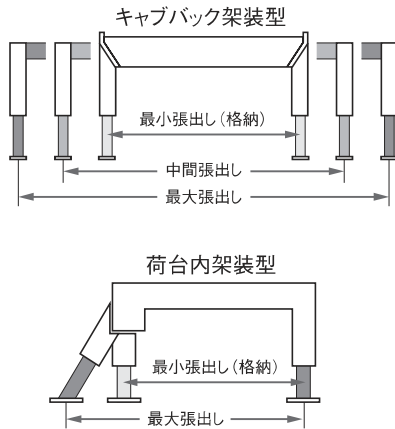
アウトリガ張出し幅によって変化する作業性能

安定度は、アウトリガの張出し幅が広いほど高く、狭くなると低下します。

空車時定格総荷重の性能はキャブバック架装（荷台内も同様）時のアウトリガを最大に張出した時の後方・側方吊りの値です。

中間張出し及び、最小張出し状態では性能がこれより低下します。

通常のクレーン作業では、最大張出し状態で作業して下さい。



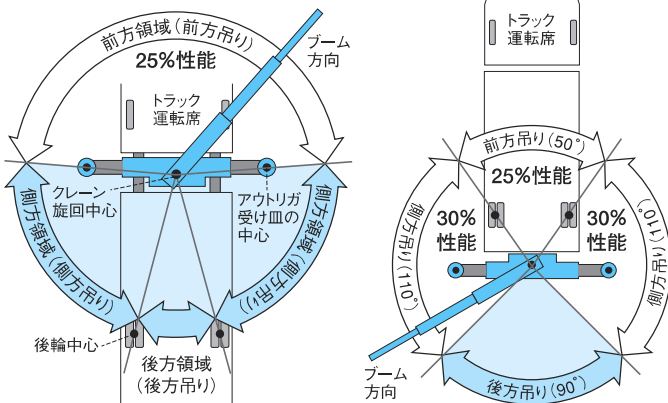
作業半径によって変化する作業性能

クレーンは、作業半径が大きくなるに従って、吊上げ性能が低下します。これは安定度によるものです。ブームの「伸」操作や「伏」操作を行う時は、作業半径が広がるので十分に注意して下さい。また、前方領域でのクレーン性能は、通常の25%以下に低下するので注意が必要です。

作業領域によって異なる作業性能

キャブバック架装時

リヤ架装時

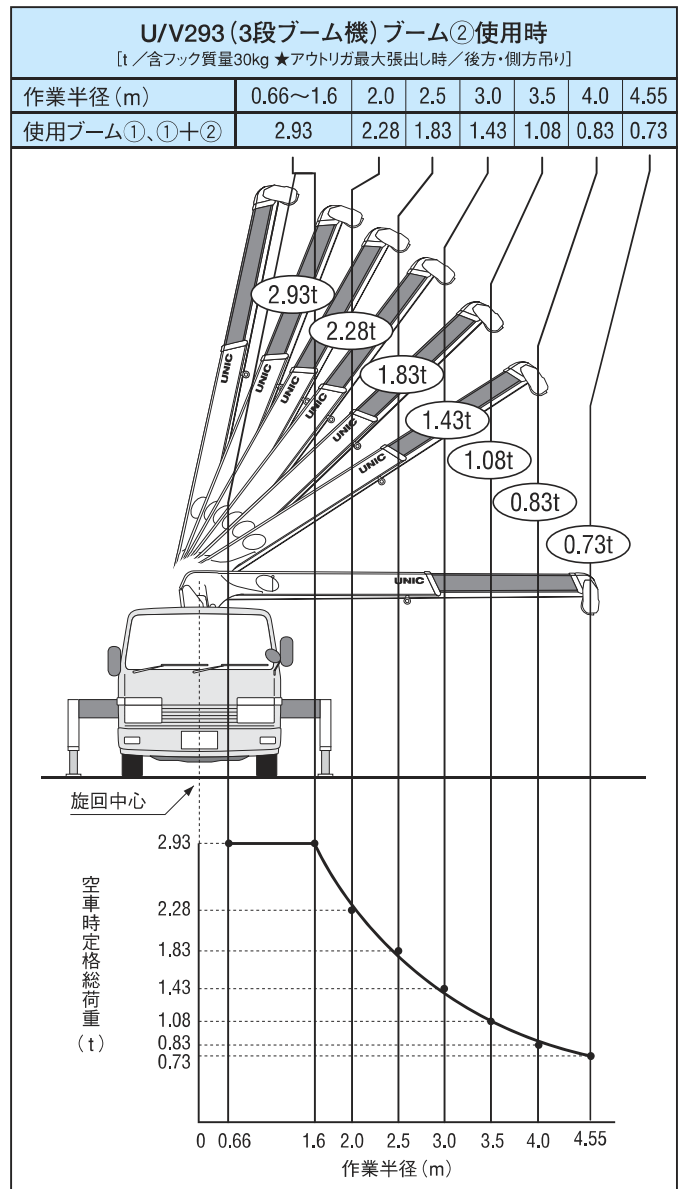


- 前方吊りとは、クレーン旋回中心とアウトリガ受皿の中心とを結ぶ線より、トラック運転室側でのクレーン作業をいい、空車時定格総荷重表に表記されている数値の25%以下で作業を行って下さい。
- 後方吊りとは、クレーン旋回中心と後輪中心を結ぶ線の内側になります。
- リヤ架装の場合はキャブバック架装に比べ、側方吊りの性能が大きく変わりますので、ご注意ください。

空車時最大クレーン容量

空車時に基づくクレーンの最大性能で、吊上げ荷重を何mの作業半径で吊れるかを表しています。例えば「2.93t×1.6m」とは、吊上げ荷重「2.93t」を「1.6m」の作業半径で吊れることを表わしています。

空車時定格総荷重の変化



「クレーン本体定格総荷重表」

に基づき作業する

U-CANシリーズ

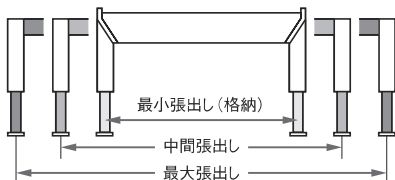
☆☆☆☆☆ Super Safety

クレーン本体定格総荷重

クレーンの強度に基づき、各作業半径に応じて吊り上げることができる最大の荷重を、クレーン本体定格総荷重といいます。フックなど吊具の質量を含んでいます。

アウトリガ張出し幅によって変化する性能

安定度は、アウトリガの張出し幅が広いほど高く、狭くなると低下します。クレーン本体定格総荷重の性能は、キャブバック架装時の後方領域及び、アウトリガを最大に張出し、十分な安定が得られる場合の側方領域における性能です。中間張出し、最小張出し状態及び、空車時など、十分な安定が得られない時、クレーン本体定格総荷重表に記載された性能より低下します。通常のクレーン作業では最大張出し状態で作業して下さい。



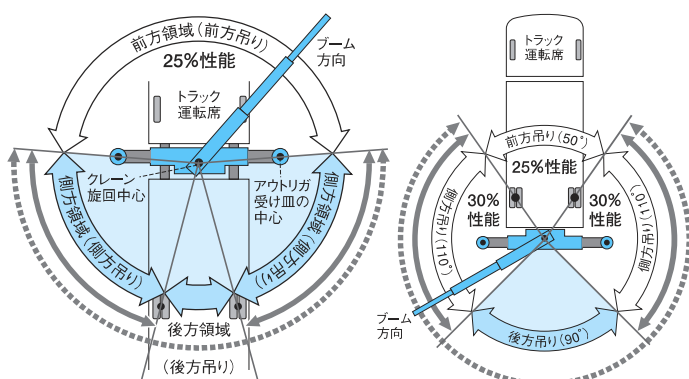
作業半径によって変化する作業性能

クレーンは、作業半径が大きくなるに従って、吊上げ性能が低下します。これは安定度によるものと共に、ブーム強度が低下することによるものです。ブームの「伸」操作や「伏」操作を行う時は、作業半径が広がるので十分に注意して下さい。また、前方領域でのクレーン性能は、通常の25%以下に低下するので注意が必要です。

作業領域及び、U-AOLシステムの作動範囲

キャブバック架装時

リヤ架装時



「U-AOLシステム」転倒防止(アウトリガ接地検知)装置 作動範囲
「U-AOLシステム」過負荷警報装置 作動範囲

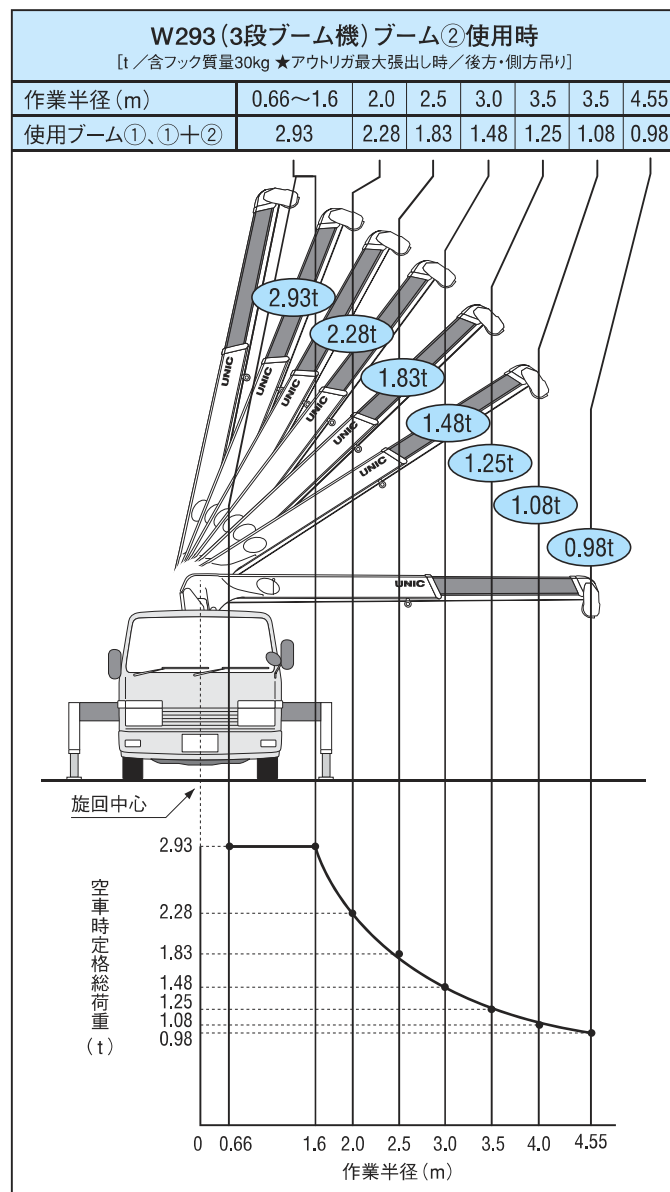
※前方作業領域は、「U-AOLシステム」の測定範囲外となります。

- 前方吊りとは、クレーン旋回中心とアウトリガ受皿の中心とを結ぶ線より、トラック運転席側でのクレーン作業をいい、空車時定格総荷重表に記載されている数値の25%以下で作業を行って下さい。
- 後方吊りとは、クレーン旋回中心と後輪中心を結ぶ線の内側になります。
- リヤ架装の場合はキャブバック架装に比べ、側方吊りの性能が大きく変わりますので、ご注意下さい。

クレーン本体最大クレーン容量

クレーン本体の強度に基づくクレーンの最大性能で、吊上げ荷重を何mの作業半径で吊れるかを表しています。例えば「2.93t×1.6m」とは、吊上げ荷重「2.93t」を「1.6m」の作業半径で吊れることを表わしています。

クレーン本体定格総荷重の変化



「U-AOLシステム」* 基準による、定格性能表示

クレーンは「強度」と「安定度」、各々の性能内において作業することが前提です。「U-AOLシステム」は、「過負荷警報装置」が、クレーンの強度を、「転倒防止(アウトリガ接地検知)装置」が、クレーンの安定度をそれぞれ測定。一方が限界を超える前に、過負荷警報装置が警報を発するか、または転倒防止(アウトリガ接地検知)装置が警報を発し、クレーンを停止するなどして、オーバーロードを防止するシステムです。これにより、十分な安定度を確保した時、クレーン強度の100%まで作業することが可能になります。このため性能は、クレーン本体定格総荷重で記載しています。

※空車時など、十分な安定度が得られない場合、クレーン本体定格性能に達する前に転倒防止(アウトリガ接地検知)装置により、クレーンが停止する場合があります。 *「U-AOLシステム」: UNIC Anti-OverLoad system / オーバーロード防止システム

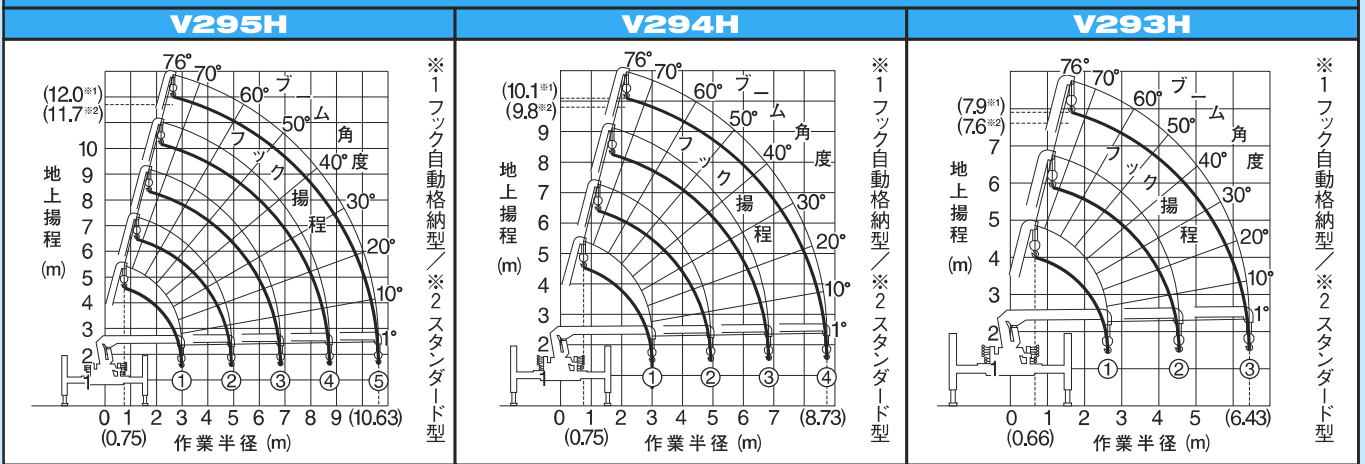
UR-V290H シリーズ [2トン車クラス以上 (小型トラック) 架装用ハイアウトリガクレーン]

主要諸元

| クレーン型式名/ブーム段数 | V295H/5段 | V294H/4段 | V293H/3段 |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 架装対象車 (各社) | 2トン車クラス以上 (車両全幅2,000mm以上、ホイールベース3,300mm以上) | | |
| 空車時最大クレーン容量 | 2.93t×1.5m | | |
| 最大地上揚程 | 約12.0m [フック自動格納型] | 約11.7m [スタンダード型] | 約7.9m [フック自動格納型] |
| 最大作業半径 | 10.63m | | |
| ブーム伸縮装置 | 油圧シリンダ3本+ワイヤロープ式伸縮装置 | | |
| フック巻上速度 (ロープ掛数4) | 17.0m/min (4層目) | | |
| 巻上ロープ (構成・種類) | IWRC 6×WS (26) B種 φ8mm×64.0m [切断荷重:42.4kN (4.32tf)] | IWRC 6×WS (26) B種 φ8mm×55.0m [切断荷重:42.4kN (4.32tf)] | IWRC 6×WS (26) B種 φ8mm×44.0m [切断荷重:42.4kN (4.32tf)] |
| ブーム伸長速度 (ブーム長さ) | 7.65m (3.15m~10.80m) / 13.0s | | |
| ブーム上げ速度 | 1°~76° / 5.0s | | |
| 旋回範囲/速度 | 360° (連続) / 2.5rpm | | |
| アクセルコントロール方式 | アクセル連動式クレーン・アウトリガ操作レバー (A.A.方式) 及び単独アクセルレバー | | |
| フック格納方式 | [フック自動格納型]:専用レバーによる自動格納式 [スタンダード型]:フック掛ロープによる固縛式 | | |
| 旋回ロック方式 | 旋回操作レバー連動による自動ロック式 | | |
| フック巻過防止装置 | [フック自動格納型]:フック巻過時、「巻上・伸長・起」の自動停止および警報式 [スタンダード型]:フック巻過時、警報式 | | |
| ブーム起伏装置 | 油圧シリンダ直押し式 | | |
| 巻上装置 | 油圧モータ駆動 減速機:平歯車減速式 ブレーキ:メカニカル自動ブレーキ | | |
| 旋回装置 | 油圧モータ駆動 減速機:ウォーム十平歯車減速式 (ボールベアリング支持) ブレーキ:ウォームセルフロック | | |
| アウトリガ | 《横》手動引出し式 《縦》油圧シリンダ直押し式 | | |
| 張出し幅 | 最大張出し幅:3.1m 中間張出し幅:2.5m (ハイアウトリガ作業時、アウトリガの横張出しは行なわないで下さい) | | |
| 縦伸縮方式/ストローク | 左右ジャッキ単独伸縮 (操作レバー方式) / 左右ジャッキ同調伸縮装置 (操作レバー方式) / ジャッキ伸縮ストローク:945mm | | |
| 車両傾斜角度 | 約13° (車両により異なる) | | |
| 油圧ポンプ | 形式:ギヤ形 定格圧力:20.6MPa (210kgf/cm ²) 定格吐出量:53.0ℓ/min 定格回転数:1,700rpm | | |
| 作動油タンク (容量) | 22.0ℓ | | |
| 安全装置 | 油圧安全弁/油圧自動ロック装置/荷重計/巻過防止装置 (スタンダード仕様を除く) / 巻過警報装置/旋回自動ロック装置 荷重指示計 (角度計及び巻層計付) / 水準器/警報ブザー/玉掛ワイヤロープ外れ止め/PTO作動ランプ | | |

●フック自動格納型とは、スーパー・ユニフック又は、ユニフック装着機を示します。

作業範囲図



空車時定格総荷重 [t/含フック質量30kg] ★アウトリガ最大張出し時/後方・側方吊り

| V295H | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|--------------|------|------|------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|-------|
| 作業半径 (m) | 0.75~1.5 | 1.8 | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | 8.0 | 9.0 | 10.0 | 10.63 |
| 使用ブーム | 2.93 | 2.43 | 2.13 | 1.63 | 1.13 | 0.83 | 0.63 | 0.45 (4.91m) | | | | | | |
| ①、①+② | | | | | | | | | | | | | | |
| ①+②+③ | | | 1.73 (2.20m) | 1.53 | 1.08 | 0.83 | 0.63 | 0.43 | 0.28 | 0.23 (6.83m) | | | | |
| ①+②+③+④ | | | | | 0.93 | 0.78 | 0.63 | 0.43 | 0.28 | 0.23 | 0.18 | 0.15 (8.73m) | | |
| ①+②+③+④+⑤ | | | | | | | 0.48 | 0.38 | 0.28 | 0.23 | 0.18 | 0.14 | 0.13 | 0.10 |

| V294H | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|------|--------------|------|------|------|------|--------------|------|--------------|------|------|
| 作業半径 (m) | 0.75~1.6 | 1.8 | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | 8.0 | 8.73 |
| 使用ブーム | 2.93 | 2.55 | 2.28 | 1.68 | 1.18 | 0.83 | 0.63 | 0.48 (4.93m) | | | | |
| ①、①+② | | | | | | | | | | | | |
| ①+②+③ | | | 1.88 (2.20m) | 1.63 | 1.18 | 0.83 | 0.63 | 0.45 | 0.35 | 0.30 (6.83m) | | |
| ①+②+③+④ | | | | | 0.98 | 0.78 | 0.63 | 0.45 | 0.35 | 0.28 | 0.23 | 0.20 |

| V293H | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|------|--------------|------|------|------|------|--------------|------|------|--|
| 作業半径 (m) | 0.66~1.6 | 1.8 | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 6.43 | |
| 使用ブーム | 2.93 | 2.55 | 2.28 | 1.68 | 1.18 | 0.88 | 0.68 | 0.58 (4.55m) | | | |
| ①、①+② | | | | | | | | | | | |
| ①+②+③ | | | 1.88 (2.20m) | 1.63 | 1.18 | 0.88 | 0.68 | 0.48 | 0.35 | 0.33 | |